

明生小学校(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第3回 明生小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和 6年 8月 26日(月) 10:00 ~ 12:00

2 場 所 会議室 図書室

3 あいさつ(委員長、学校長)

○暑い日が続いているが、いかがお過ごしでしょうか。台風が近づいてきているので、災害に対する準備もしてみえるかと思います。そんな中、今日は集まっていただきました。よろしくお願いします。(委員長)

○夏休みも残り1週間。子どもたちは大過なく長い休みを過ごすことができました。皆様のご協力のおかげです。ありがとうございます。(学校長)

4 協議内容

(1) 令和6年度全国学力学習状況調査の結果について(学校長)

○実際に問題を見る(10分程度)

- ・知識だけではなく、問題を解くために、日常の経験が試される内容となっている。
- ・正答率は国語、算数ともにほぼ全国並み。
- ・国語、算数ともに、条件に合わせて文章で解答することが苦手。

○国語について

- ・初めて出会うとても長い文章、延々と続く問題を、粘り強く解いていかなければならない。
- ・同音異義語の中から正しい漢字を選ぶことができない。

○算数について

- ・問題文を読んでも、想像ができない。算数用語の意味がわかっていない。
- ・無答率がやや高い。手が付けられない。→非認知能力「やりぬく力」に関わってくる。

○児童質問紙について

- ・生活習慣(朝食の喫食率、就寝・起床時間、SNS・動画視聴時間等)について気になる。
- ・自己肯定感、学校に行くのが楽しい→少しずつアップしてきている。

○委員より

- ・実際に問題を見て、計算ができるだけではだめで、大人になった時に状況に応じて、役に立つ考え方を身につけていかなければならないんだと思った。
- ・たくさんのデータから必要なものを選ぶ、正しいものを見抜く力が必要。たくさんのものの見方や、問題を解決する方法を身に付けなければならない。これは大人たちも身につけなければならない力だと思う。

(2) 令和 6 年度明生小学校学校アンケート(前期)の結果について(教頭)

○防災意識について

- ・昨年度よりやや下がっているが、今回、初めて南海トラフ地震臨時情報が発表されたことを受けて、各家庭で話し合う機会があったのではないかな。

○挨拶について

- ・保護者と子どもでギャップがある。子どもは挨拶をしっかりとしていると思っている。
- ・見たことのある人にはできるが、地域の人でも知らない人には難しいだろう。
- ・大人が自分から挨拶したり、「元気がいいね」と声掛けをしたりすれば、子どもも安心して挨拶ができるようになる。「知らない人には・・・」という難しい時代ではあるが。

5 明生小学校職員とのワークショップ

○委員 5 名、学習ボランティア 1 名、職員 18 名が 3 つのグループに分かれて「子どもたちの自主性/主体性を育むことができる活動を考えよう」というテーマで話し合った。

- ・子どもが自分たちの家のように、安全で楽しく過ごせる場所が必要。
- ・「やれそうだな」「やりたいな」を自分で選ばせる。運営する立場を経験させる。
- ・土を触る、耕す等、家ではできない体験が大事。「体験格差」をなくす。
- ・地域の人が助けてくれるという安心感をもたせる。
- ・子どもたちは自己主張が少ない、生活体験も失敗も少ない。きっかけさえあればやれる子どもがいるので、「やりたい」と思った時にいつでもできる環境づくりを行う。
- ・スモールステップで成功体験を積み重ね、「もっとがんばろう」という気持ちにさせる。
- ・明生小で取り組んでいるたてわり活動で、成功も失敗もたくさん経験して、それらを通して自主性を身につけさせる。
- ・人との関わりが少ない。人と関わることで相手のことを考えることができるようになる。人だけではなく、物や動物との関わりを通じて思いやりの心を育てることができる。
- ・高学年になるにつれて、自分で選択させること、自分のやり方を見つけていくことが大切。
- ・大人が子どもたちに自主性を求めている。もっと地域の人との関わりを増やして体験活動を行い、自主性を育てていくべき。
- ・失敗は怖いし、恥ずかしいかもしれないが、同じことを繰り返しても構わないので、達成感や成功体験を積み重ねて、自信につなげていく。

6 ワークショップの講評(学校長)

○「成功体験」と「失敗も必要」相反することであるが、失敗してそのまま終わらないように、どうすればよかったかと考え、成功につなげていくようにすることが大切。様々な体験をすることとや機会を与えることは学校だけでは難しい。ぜひ地域の皆さんの力をお借りしたい。今後共ご協力をお願いします。